

給水設備設置計画事前協議書

年 月 日

(あて先) 札幌市保健所長

給水設備設置者 住 所

(又は代理人) 氏 名

電 話

F A X

札幌市簡易専用水道指導要領第 7 条の規定に基づき、当該給水設備に係る設置計画について下記のとおり提出します。

記

【設計者】

住 所		電話	
氏 名	担当者	F A X	

【給水設備を設置する施設の概要】

名 称	所在地	札幌市 区			
用 途	共同住宅(分譲: 戸 賃貸: 戸) 社宅() 寄宿舍 戸建住宅(戸) 事務所 学校 病院 店舗 旅館 工場 その他()				
規 模	建築物	地上 階地下 階 延べ床面積: m ²			
	給水場所面積	m ²	給水予定人口	人	
給 水 方 式	圧力タンク方式 ポンプ加圧方式 高置水槽方式 その他() 直結給水個所有()				
貯 水 槽	受 水 槽	総容量 m ³ (H m× m× m)	有効容量	m ³ (H m)	
	高 置 水 槽	総容量 m ³ (H m× m× m)	有効容量	m ³ (H m)	
	他()	総容量 m ³ (H m× m× m)	有効容量	m ³ (H m)	
給水ポンプ	台数: 台	性能: リットル/min	全揚程:	m	
雑用水	給水系統	飲料系統と同じ	飲料系統と別	水 源	水道水 井水等
	水 槽	飲料用水槽と兼用	飲料用水槽と別	(H m× m× m)	

【給水設備の構造】

項 目	基 準 値	設 計 値	判 定
給 水 管	点 検 個 所	点検用配管スペースの設置	有(場所) 無
	設 置 状 況	汚染する設備を貫通しない 他の管との識別可能な措置	貫通個所 有 無 方法
材 質	継 手	赤水の発生防止ができる	材質
			継手
直結給水せん	受水槽手前等に直結せん設置	有(場所) 無	
クロスコネクション	他の配管設備との連結の有無	連結場所 有() 無	

項目	基準値	受水槽		高置水槽			
		設計値	判定	設計値	判定		
貯水槽の措置	設置場所	建築物内で維持管理容易な場所	場所		場所		
	点検空間	上部1m以上,周壁・下部60cm以上	m, cm		m, cm		
	水槽上部	給水管以外の配管設置の有無	有 無		有 無		
	地下ピット式の場合	昇降の安全対策措置をとること	方法		/		
		点検口は出入り容易な位置	位置				
		点検口の真下に貯水槽ないこと	有 無				
		ピット内には汚染管等ないこと	有 無				
		十分な換気設備を設置すること	設備				
		十分な照明設備を設置すること	設備				
		適切な床面排水構造とすること	構造				
排水槽等の有無と離間距離	有 (m) 無						
排水ポンプの有無	有 無						
貯水槽の構造	容量	過大でないこと	日量の /				
	兼用	消火水槽との兼用の有無	有 無		有 無		
	槽数	2槽式とすること	槽式		槽式		
	内部配管	給水管以外の配管設置禁止	有 無		有 無		
	内部点検空間	高水位と水槽天井には十分な点検空間を確保すること	cm		cm		
	流出管の位置	槽底の沈積物を吸引しない高さ	cm		cm		
	流入部流出部関係	停滞水を生じない位置関係					
	材質	水槽内部は防錆材質であること	材質		材質		
	マンホール	直径60cm以上	cm		cm		
		立ち上げおおむね10cm	cm		cm		
ふたは鍵付き防水密閉構造		有 無		有 無			
通気管	1槽当たりの個数	個		個			
	汚水が流入しない立ち上げ開口部の防虫網	有 無		有 無			
	(管径÷流出管口径) 1/2	管径 cm 比 / 流出管口径 cm		管径 cm 比 / 流出管口径 cm			
オーバーフロー管	排水口空間 15cm	cm		cm			
	吐水口空間の確保 (ボールタップの呼び径)	cm (cm)		cm (cm)			
	開口部の防虫網	有 無		有 無			
水抜管	間接排水とすること	有 無		有 無			
	取り付け位置は水槽の最底部	位置		位置			
	排水用ホッパーの口径	cm		cm			